

＊ ＊平成 29 年度 いなべ在宅医療多職種連携研修会を開催しました＊ ＊

- 日 時:平成29年12月16日(土)13:30～15:45
- 場 所:員弁コミュニティプラザ ●参加者:66名
- 内 容:

**講演 「地域包括ケア時代を支える看護と介護の統合
～「医療モデル」から「生活モデル」へ～」**
講師 一般社団法人だんだん会理事長 宮崎和加子先生
(前全国訪問看護事業協会事務局長)

本研修会は、医療・看護・介護・福祉の専門職の方々に、在宅医療について理解を深めていただき多職種のネットワークを広げ、在宅医療が推進することを目的に、毎年実施しています。

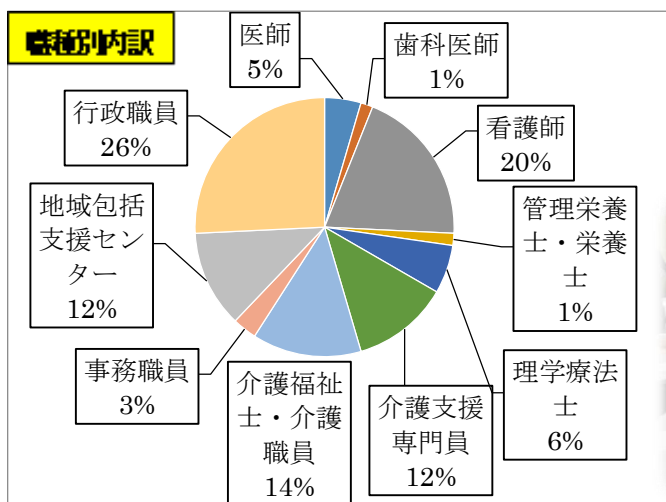
今回は、国の政策「地域包括ケアシステム」「我が事・丸ごと共生地域づくり」も捉えつつ、真に地域住民にとって必要なこと、地域を愛する方々に役立つこと・できることに取り組んでおられる講師をお迎えし、『**“帰ろう”と言える地域づくりのために、専門職ができること**』について考える研修会を開催しました。

☆宮崎先生の講演から…☆

- 独居でも、要介護5でも、身寄りのない方でも、認知症でも…ご本人が望むなら、**地域で暮らし、家で看取れる地域づくり**をしよう！
- 重度の方を、本人の思いに反し選択の余地なく病院や療養型に押し込んでおく地域では、できの良い地域包括ケアとは言えない！
- 生活を支える場に昼夜はなく、重度の要介護状態や医療ニーズの高い状態でも、**家族の負担を最小限**にし、24時間・365日、**多職種のチームで、自分らしい人生の最期を送る**ことができるように**支援**。
- 地域に求められる**“たくましく優れたプロの看護介護集団づくり”**。プロとしての目標・使命は「ご本人が今ある力で、自分らしく主体的に生ききる人生」の応援団として、**最高の支援！80点以上のサービス！**を提供すること。

☆講演を聞いての感想☆

- 今まで多くの研修に出席させていただきましたが、今回が一番良かった。気持ちがすっきりした。**最高のサービスをする意識**をもって介護します。
- 看護・介護の**連携の重要性**を改めて実感しました。
- もともと聞きたかったです。使命感もとても強く、自分の**姿勢を改めて考え直す機会**になりました。
- 「生きたいように最期の瞬間まで生きる。その支援を全力でしていくこと。」**簡単なようでとても難しく、とても重要なことだと思いました。
- 看取りの考え方、専門職としての心構えを学んだ。
- 「プロの仕事」**をする**覚悟、意気込み**がすばらしいと思った。**“自分も頑張ろう”**と思えるお話でした。

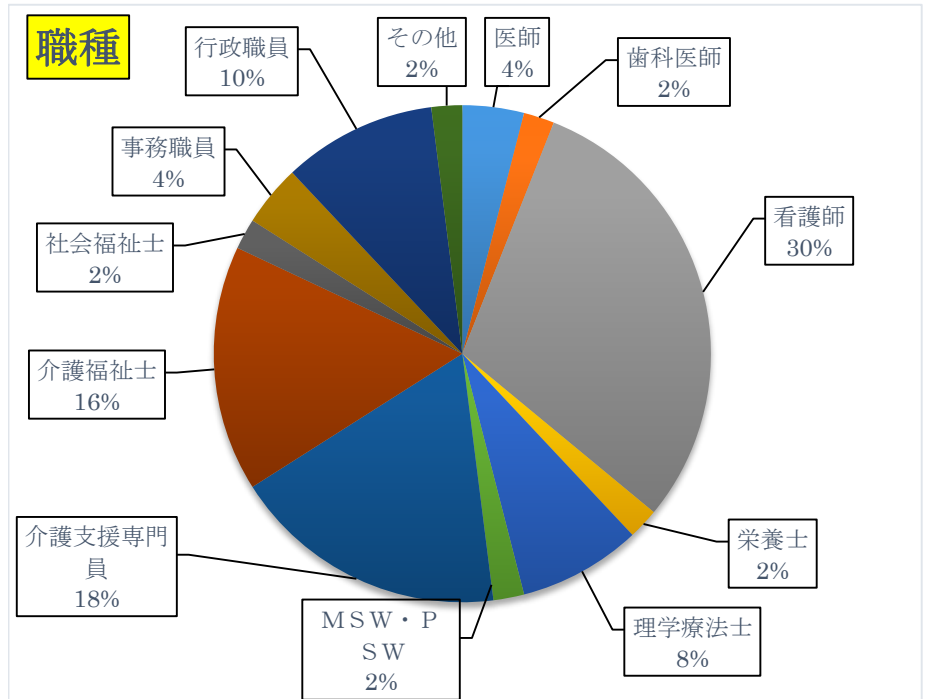


平成29年度いなべ在宅医療多職種連携研修会 アンケート結果(H29.12.16)

アンケート回収 50名

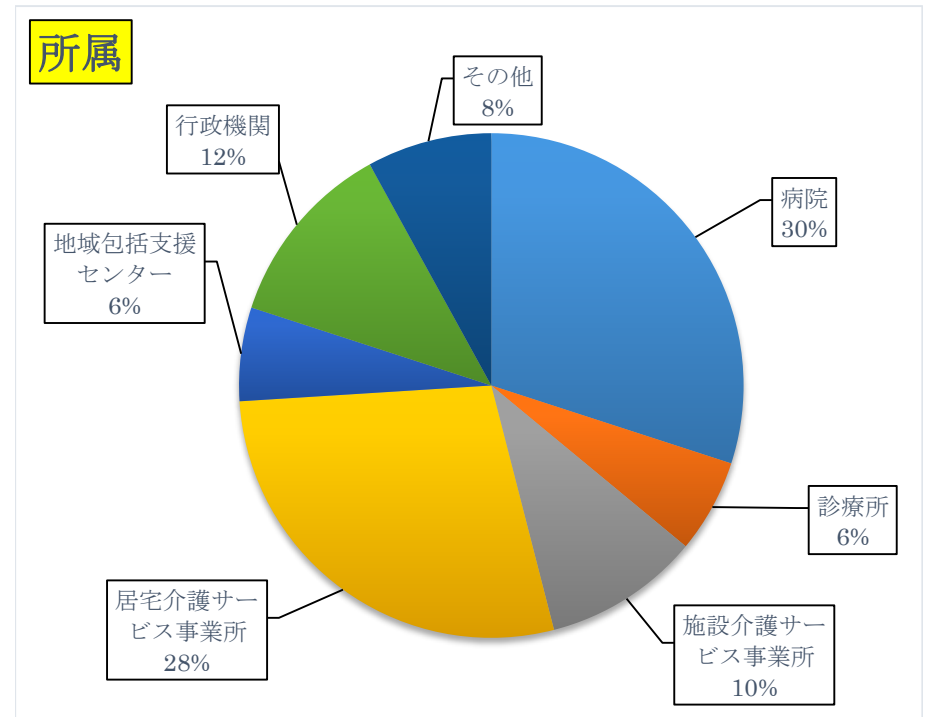
問1 職種についてお聞かせください。

医師	2
歯科医師	1
看護師	15
管理栄養士・栄養士	1
理学療法士	4
MSW・PSW	1
介護支援専門員	9
介護福祉士・介護職員	8
社会福祉士	1
事務職員	2
行政職員	5
その他	1



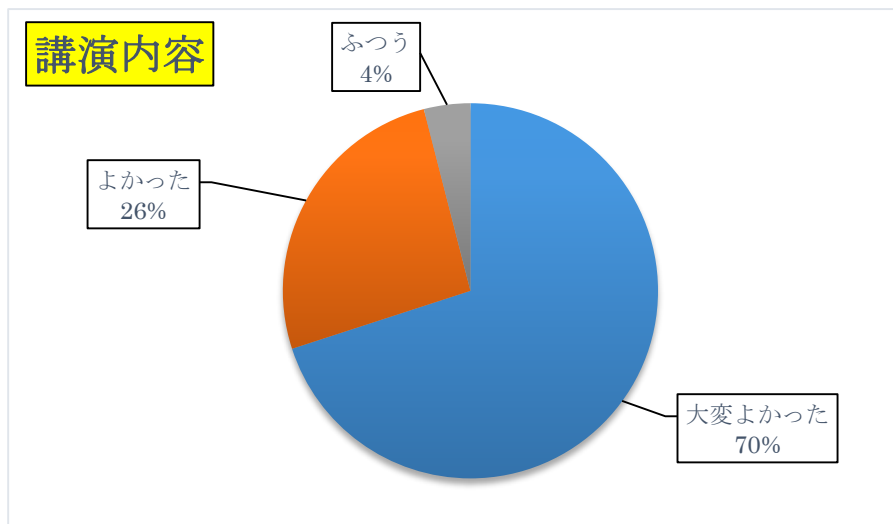
問2 所属をお聞かせください。

病院	15
診療所	3
施設介護サービス事業所	5
居宅介護サービス事業所	14
地域包括支援センター	3
行政機関	6
その他	4



問3 講演内容はいかがでしたか？

大変よかった	35
よかった	13
ふつう	2
あまりよくなかった	0
未記入	0



講演内容(理由)

役目を再確認できた。

今まで多くの研修に出席させていただきましたが、今回が一番よかった。気持ちがすっきりしました。最高のものをサービスする意識をもって介護します。介護していく自分の割合を100%に近いところへ持っていきます。

力をいただけたと思います。思いが伝わりました。覚悟と決意が必要と要を伝えていただいた。

いろんな事例が聞けて良かった。パワーがたくさんあって、すごいなあと思います。

大変やる気のある方で、元気があり、圧倒された。熱意は伝わった。早口で少しききとりにくいこともあった。

事例をまじえ、先生の活動内容がよく分かりました。こんな施設がこの地域もあれば・・・と思いました。

宮崎先生のいきごみを、自分自身にもう一度聞いてみたい。ありがとうございました。

宮崎先生のプロとしての90点以上のサービスの提供、最高の水準のサービスを提供したいという思いに、自分は何点のサービスが提供できているのだろうと考えた。又、常に地域包括ケアにつながるかわりがされているか、見習いたい。

実践を多く話していただけてわかりやすく、講師の方の考え方などがよくわかりました。

看護と介護の統合の中、私の微力ではあるが介護の中に入って助け合いたいと思った。自分も自分らしく生き生きと生きなければいけない事を知らされた。

これまで積み重ねてきた仕事・経験による自信に満ちあふれ、短い時間では話し切れない内容で、もっともって聞きたかったです。使命感もとても強く、自分の姿勢を改めて考え直す機会になりました。

宮崎先生はとても魅力的な方でした。お話にひきつけられました。ありがとうございました！パワーも頂きました。

頂くだけではせつかくのよいお話がだいなしなので、「自分らしく生ききる」ことを自分なりに考えたいと思います。難しいことばかり考えて頭でっかち・・・反省しました。

地域の支え、地域づくりの重要性が大切なことを学びました。又、最期まで自分らしく望んだ生活を送ってもらえるようさまざまなサービスを考え事業所を作られたとお聞きし、心の底から利用者様のことを考えてこれ本当にすばらしいと思いました。私自身で今後できることを見つけ実践していきたいと思えるようになりました。

生きたいように最期の瞬間まで生きる、その支援を全力でしていくこと、簡単なようでとても難しく、とても重要なことだと思いました。

地域とのつながり、支援、必要性が重要であることが解りやすい内容でした。多職種との連携が努める課題と実感します。

関わりの少ないターミナルケアについて新しい視点を知れた。リハビリの役割も考えていきたい。

地域での看取りについて勉強になった。

看護、介護の連携の重要性を改めて実感しました。利用者様の願いを叶えるという事が、私は今はできていなくて、思いを叶えてあげる事ができるように行動できていければと思いました。

現場の具体的な話がきけた。
在宅の現場での体験をたくさん聞かせて頂けてよかったです。これから看多機のニーズが高まってくると感じた。
看護師としての生き方を考える上で、とても参考になりました。ありがとうございました。勇気をいただきました。
プロの底力を感じました。全国に伝染すると、自分らしく生ききる社会が実現するのかなと思いました。
もう少し具体的にどうしていくのがいいのか、お聞きしたかったです。
元気もらいました。ありがとうございます。
看護職、介護職の質と量について、お話がきけてよかったですと思います。
看取りの考え方、専門職としての心がまえを学んだ。
講師の信念、理念はすばらしいし、それを実践されている事に感動した。
地域の人の要望、ニーズを知りそれを活かす大切さを知った。専門職としての決心。
地域包括ケアのあり方が、理解できた。
先生のパワー、私達にも必要だと思った。
「プロの仕事」をする覚悟、意気込みがすばらしいと思った。”自分も頑張ろう！”と思えるお話でした。
地域の中で死んでいく事を患者の周りが受入れない現状と、タイムリーにすすめられないケースなどあるのですが、参考になりました。
講演をきくと、何でも、やれないことはないんだと思った。
プロ意識ということについて考えさせられました。とても勉強になるお話でした。
生活の中でどうやって、生きていくか、家族の介護—どうすればよいか？迷うところが多い。
素晴らしいお話を聞かせていただきありがとうございました。自分が何かできるか、何がしたいか、日々の業務に流されず考えて、少しずつでも実行していきたいと心から思いました。
もっと長い時間ゆっくり話を聞きたいと思いました。また機会をお願いします。

問4 今後の多職種連携研修会の内容や講師について、ご提案ください。

また、宮崎先生に来て話の続きをしてほしい。
介護職をずっとされてる方の話を伺いたい。
現場、実践している話が聞けてとても良かったです。前向きなお話が聞けて自分達も頑張らないと、と思いました。
同職種同士の連携は、現在どうなっているのか。
今回のような圧倒的な経験をもった人の講演。
地域の施設について、知りたいと思います。どういう雰囲気なのかなど。

問5 いなべ市・東員町における在宅医療・介護連携推進事業へのご意見・ご要望お聞かせください。

在宅看取り率を上げたい。医療処置の高い患者を自宅へ帰したい。小児患者の家族の不安・負担を助けたい。
看護と介護の(へだたり)にギモンがありました。多職種連携、今日の講義のような研修に参加したい。
色々な機会や情報を伝えていただきありがとうございます。
ヘルパーさんの知識を高めてもらう事はすごく大切です。底上げが出来ていくかどうかは、そのところにとってもかかっていると感じています。
多様なサービス、施設が少なく選択肢がない。
ありがとうございました。
この地域の訪問看護の質は高いと思っています。
介護の方は向上してきていると思います。障害者支援についての現状を知りたいです。
病院、施設、在宅との連携が強まることを期待しています。